――マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集（英文論文誌 C）論文募集――

マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集編集委員会

第 5 世代移動通信システム（5G）用として 28 GHz 帯含む周波数帯が割り当てられ，2020 年には 5G の商用サービス開始が予定されています．5G 以降を目指したより高い周波数帯の開拓に向けた研究開発も盛んとなっています．加えて，近年はさまざまな社会課題の解決手段としてマイクロ波・ミリ波技術が注目されており，無線電力伝送システムやミリ波帯レーダなどの進展は顕著です．そこで，最新のマイクロ波・ミリ波の能動素子・回路，受動コンポーネンツ，システム，理論などの研究成果の発表の場として，「Special Section on Microwave and Millimeter Wave Technologies」小特集（2020 年 10 月号）を企画致しました．

奮っての御投稿をお願い致します．

1. 対象分野

主な分野は以下の通りですが，これらに限定するものではありません．

・能動素子，受動素子
・能動回路（発振器，逓倍器，混合器，増幅器，ミックスドシグナル IC，MMIC など）
・受動回路（フィルタ，共振器，カプラ，メタマテリアルなど）
・マイクロ波／ミリ波／THz 波システム（5G 関連技術，インテリジェントモビリティ関連技術，センシング・イメージング技術，ヘルスケア技術，マイクロ波化学応用技術など）
・アンテナ及びその集積化技術
・マイクロ波フォトニクス
・IC 及び高周波モジュール実装技術及び評価技術
・無線電力伝送技術
・シミュレーション技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします．原則として刷り上がりペーパー：8 ページ，ブリーフペーパー：4 ページ以内（厳守）とします．詳細は Information for Authors（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html）を御参照下さい．査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合がありますので，あらかじめ御了承下さい．

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため，本小特集では論文の電子投稿を行います．以下の手順で御投稿下さい．

・https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録して下さい．
・Web 上で著作権の譲渡手続きを行って下さい．
・登録時には，必ず” Journal/Section ”で［Special-MM］Microwave and Millimeter Wave Technologies を選択して下さい．［Regular-EC］を選択しないで下さい．

4. 論文投稿締切日　2019 年 10 月 15 日（火）厳守

5. 問合せ先

加保貴奈
湘南工科大学電気電子工学科
TEL〔0466〕30-0181，E-mail：kaho@elec.shonan-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長　岡崎浩司（NTT ドコモ）
幹　事　加保貴奈（湘南工大），山本和也（三菱電機）
委　員　井上和孝（住友電工），大平昌敬（埼玉大），清水隆志（宇都宮大），新庄真太郎（三菱電機），須賀良介（青山学院大），関　智弘（日大），高野恭弥（東京理科大），西川健二郎（鹿児島大），三谷友彦（京大），吉田賢史（鹿児島大）

7. 重要なお知らせ

・招待論文を含む全ての著者は，論文が採録となった場合，2020 年 3 月頃に掲載料をお支払い頂くことになります．2020 年 4 月 15 日までに支払いが完了しない場合には，採録取り消しとなります．
・投稿に際しては，著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません．ただし招待論文に関してはこの限りではありません．必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿は受け付けませんので，御注意下さい．
・本会への入会はこちら（http://www.ieice.org/jpn/join/index.html）を御覧下さい．